

# 白峯山たより



## 迎春

旧年中は皆様のご厚情を賜り有難く存じます  
本年も昨年同様、よろしくお願ひ申し上げます

平成二十四年 元 旦

新年の御賀牘（厄除開運・家内安全のご祈禱札）  
を同封致します。清浄な場所にお祀り下さい。

厄除開運 えと守り本尊の寺

四国第八十一番霊場 崇徳天皇菩提寺

別格本山

## 白峯寺

えと守り本尊奉納

未年石像

山口県

松本司殿

平成二十三年十月吉日

えと守り本尊奉納

戌年石像

兵庫県

和田愛子殿

平成二十三年一月吉日

検索

白峯寺

### 新年を迎える喜び

二十三年は本当に大変な年でした。三月十一日の東北大地震に始まり、福島県の東京電力福島原子力発電所爆発事故の災害等、現在まで続いております

又、全国的に台風の被害が相次ぎ当地方も台風が通過し、当山堂宇も屋根の破損

、倒木等の災害を受けました。現在も修復工事中であります。

今年は災害を乗り越え明るく景気も上向く元気な良い年にしたいものです。

ここでお正月のお飾りの「鏡餅」の由来についてお話を致します。

「鏡餅」は鏡のように丸い餅という事です。古代においては鏡は青銅鏡などに見

られるように円形をしており、三種の神器の一つとして大切にされておりました

一方主食の食物であった米で作られた餅は、神仏えのお供えものとして欠かせ

ないものであり、それらのことより、御餅を鏡のように丸くかたどり、神聖なお

供え物とする様になったのでしよう。鏡餅が一般に広まり始めたのは室町時代以

降のことで、特に武家では床の間に甲冑を飾り、前に鏡餅を飾り家運繁栄、武運

長久を願ったとされています。

庶民の間では丸餅を重ねた姿に、家門繁栄とと新しい年を重ねると言う意味が

付され、お正月のお飾りとして広まっていったようです。

お餅の飾り物は地方によって様々ですが、裏白（羊歯の類、常にみずみずしい

緑の葉を保ち枯れない所から家門繁栄の意味。葉が対になって生えるので夫婦円

満の意味もある）橙（家が代々続くことを祈る）海老（長寿の意味）串柿（万物

をかき集める）昆布（子生、に通じて子宝に恵まれる。よろこぶにも通ず）等

全てめでたい意味をつけた物を飾ります。

今年こそ明るいとしになりますよう、各家、家門繁栄、身体健康、等をご祈念

致します。

合掌

### 除夜の鐘

☆当山では毎年大晦日より元旦にかけて、午前零時頃より除夜の鐘の行事を執行いたしており、参詣者の皆様に一人一打、年頭の祈りを込めて除夜の鐘の行事に参加いただいております。一打一願、一年の計を祈願しお参りください。除夜の鐘参加者の方には記念品を授与致しております。

お願い、お知らせ

守り本尊様が奉安されている、お堂前にえとの石像を安置しました。解りやすくお参りが出来る」と好評です。(ご芳名謹刻)  
現在受付中のえと石像 (二体 三十万円)  
午年 勢至菩薩様 亥年 阿弥陀如来様



霊場・開創記念 1000灯籠奉納のすすめ

一、当山開創千二百年記念  
一、四国八十八ヶ所霊場開創千二百年記念  
一、第七十五代崇徳天皇八百五十年忌記念



記念吊燈籠 奉納料 参拾萬円



天蓋記念燈籠

奉納料 百萬円

お名前、願い事記入し奉納致します

当山開創記念心事業

来る平成二十六年は、霊場開創、当山開創千二百年記念の年にも当たり又、第七十五代崇徳天皇崩御八百五十年祭の記念の年にも当たります。この記念事業に併せて、ご寄進、特別記念吊燈籠の奉納をお願い申し上げます。

- 一、本堂・大師堂・頓証寺殿 (金箔押、特製 丸吊燈籠)
- 一、記念吊燈籠 (願い事、願主名記入の上奉納) 三十万円
- 一、内陣天蓋燈籠 (同右) 壹百萬円

記念事業篤信者ご芳名 順不同 二十三年十一月現在

一、ご寄進	百万円	神戸市	和田 愛子	殿
一、ご寄進	十万円	浜松市	戸田 照正	殿
一、ご寄進	五万円	大阪市	仁志 菊雄	殿
一、ご寄進	百万円	坂出市	濱崎美智子・濱崎直哉	殿
一、ご寄進	五十万円	多度津町	加本 貴久	殿
一、ご寄進	三十万円	東京都	蒲 生 明	殿
一、ご寄進	三十万円	坂出市	岡本三千代	殿
一、ご寄進	百万円	高松市 (備浜崎)	代表取締役 豊田章二殿	殿
一、ご寄進	百万円	坂出市	三好恵一・三好一郎	殿
一、ご寄進	三十万円	丸亀市	袴田和生・袴田由利子殿	殿
一、天蓋燈籠	百万円	大阪市	井原義行	殿
一、千支石像	三十万円	神戸市	三谷安治	殿
一、千支石像	三十万円	防府市	和田 愛子	殿
一、万灯籠	十万円	大阪市	松本 司	殿
一、万灯籠	十万円	坂出市	宮本千寿子	殿
一、特別篤志	十万円	坂出市	田中義視・敏子	殿
		北村悦二		殿

お願い祈願のご案内

厄除け、車両安全、交通安全、家内安全、健康祈願、合格祈願等の諸々のお祓いは毎日受付致しております。

お不動様護摩供養案内

毎月二十八日はお不動様のご縁日であります。当山護摩堂にて午前十時より定例護摩供養を執り行なっております。有縁の皆様、願い事のある方は是非ご祈願下さい。

二十八日 午前十時より十一時

お参りご案内

二十四年三月・九月(予定)、四国八十八ヶ所お遍路、五十四番く高野山迄お参り予定、お誘い合わせてご参加ください。

★不動明王奉安のお勧め

護摩堂祈禱殿にお不動様を奉安致し、祈願、供養されますようお勧めいたします。

★吊燈籠奉納のお勧め

当山、お堂に燈籠の奉納をお勧めいたします。

炎の仏様

身代り不動尊にあなたの願ひを!



奉安料 二万円

お名前、願い事を記入、不動護摩堂に奉納致します。

祈願燈籠、奉納のすすめ



萬灯籠 十萬円



天蓋燈籠 二十萬円

お名前、願い事を記入、奉納致します。

辰年生まれの人のお守り本尊

ご本尊、普賢菩薩様です、護摩堂にお祀りされております。